

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【公表番号】特表 2007-509697(P2007-509697A)

【公表日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報 2007-015

【出願番号】特願 2006-538033(P2006-538033)

【国際特許分類】

A 6 1 C 7/14 (2006.01)

A 6 1 C 7/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 7/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 31 日 (2007.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

歯科矯正器具であって、  
ベースと、  
前記ベースから外側に延びている本体と、  
略近心 - 遠心方向に前記歯科矯正器具を横切って延びているアーチワイヤスロットと、  
ポストと、  
アーチワイヤを前記アーチワイヤスロット内に解放可能に保持するためのラッチと、を  
備え、  
前記ラッチがクリップを備え、前記クリップが前記アーチワイヤスロットに隣接してア  
ーチワイヤを受容する部位と、前記ポストを受容する凹部とを備え、前記凹部が前記ア  
ーチワイヤを受容する前記部位と連通していない、  
歯科矯正器具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

クリップ 42 は、第 4 のセクション 58 に繋がっている脚部セクション 60 を備える。  
脚部セクション 60 は、第 3 のセクション 50 に略平行な方向に延びている。第 3 のセク  
ション 50、第 4 のセクション 58 および脚部セクション 60 は、協働して略「U」形の  
形態を示し、近心ポスト 34 を受容するための咬合側開口部を有する凹部 62 を画定する  
。